



おもしろはひとつ！ 内視鏡手術の術中トラブルゼロを目指した 機器・デバイス管理術 ～医師の手となる鉗子に対するの看護師の役割とは～

■ 日時・会場

2017年11月3日 [金] 17:00～18:00

グランフロント大阪 北館 タワーC 8階
カンファレンスルーム 第4会場

■ 座 長

前橋赤十字病院
手術看護認定 看護師長

慶野 和則 先生



■ 演 者

「気付いていますか？ 内視鏡手術にひそむ、
機器の劣化が及ぼす患者への負担」

近畿大学医学部 外科学
内視鏡外科部門 教授

今本 治彦 先生



本セミナーは整理券制です。

配布時間 13:30～15:00

配布場所 地下2階 コングレコンベンションセンター 整理券配布デスク

講演後、希望者には会場内にてハンズオンを体験して頂けます。

レクチャー付ハンズオンに限り、受講希望者にはイブニングセミナー整理券配布時に、別途整理券を配布します。

※数に限りがありますので、ご了承ください。

おもいはひとつ！

内視鏡手術の術中トラブルゼロを
目指した機器・デバイス管理術

“医師の手となる鉗子”に対する看護師の役割”

近畿大学医学部 外科学 内視鏡外科部門
近畿大学医学部付属病院 低侵襲外科センター 今本 治彦

医療者側のメリット

- ・術野の共有
- ・拡大視野
- ・遠方視野(奥まったところがよく見える)
- ・良好な術野の確保
- ・繊細な手術操作
- ・病変に触れにくい
- ・記録が確実(カメラを通しての手術であるため、撮影が容易)
- ・開腹手術の質の向上